

## 各チームへの連絡事項

- 1 開門7：15ですが各チーム3密にならないようお願いします。
- 2 当日7：00～8：00に、団体の責任者は受付を行ってください。
  - \* 欠場選手の有無にかかわらず、欠場選手一覧表を提出のこと。
  - \* プログラム参照の上2種目重なれば2種目同時届の提出のこと。
- 3 開会式及び表彰式は、おこないません。
  - \* 1位～8位まで賞状を正面玄関前で受け取ってください。
- 4 帯同役員は、8：00正面玄関前に集合をお願いします。
- 5 競技場西側駐車場は、大会役員の駐車場です。役員以外は、絶対に止めないでください。  
団体や保護者の駐車場は、競技場東側と球技場に駐車してください。
- 6 自分の持ち物は自分で管理してください。
  - \* 移動しやすいように各人大きめのビニール袋に団名・名前を書いて持ってくること。
- 7 各団競技引率者は、体調管理チェックシート提出のこと。(引率者については、各団で調整のこと。)引率時マスク着用をお願いします。3密を避けるための対策です。

## 競技場の注意事項

- 1 この大会は、2021年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会の要項に則り行う。
- 2 招集方法、完了時刻について
  - 1) 招集場所は競技開始場所です。  
走幅跳は、第4ゲート横から・1000mは、第3ゲート横から入場のこと。  
但し、走高跳とジャベリックボール投げは、第1ゲート内に集合のこと。  
各団体の引率者はマスク着用の上、招集時刻までに招集ゲート前まで選手を誘導してください。
  - 2) トラック競技の組ごとで招集時間が異なるので日程表の時刻を厳守のこと。
  - 3) フィールド競技は競技開始30分前とします。
- 3 練習会場・時間について
  - 1) 競技場内での練習は、8：20までとします。
  - 2) 8：20以降のウーミングアップは雨天練習場や競技場外周を使用してください。  
ただし、ハードルやスタブロの設置は禁止します。雨天練習場については、必ず指導者が同行し、第3ゲート横ドアから出入りすること。ジョギング・ウォーキングコースについてはバトン練習、ダッシュ練習は禁止する。一般のランナーが使用しているので、事故の無いよう指導者保護者が付くことが望ましい。
- 4 競技方法について
  - 1) 競技に際しては全天候型のスパイク又はシューズを使用すること。
  - 2) スパイクシューズに使用するピンは、9mm以下の全天候用のピンとする。
  - 3) スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。  
ただし、3年生は、スタンディングスタートとする。スタートは同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
  - 4) 80mHは、男女とも、ハードルの高さ70cm、スタートから第1ハードルまで13m、ハードル間7m、ハードルの台数9台、最終ハードルからゴールまで11mとする。  
スタートは、クラウチングスタートとする。
  - 5) スタートはイングリッシュコールで行う。
  - 6) 5,6年生800mは、セパレートでのスタートとする。

- 7) 5, 6年生1000mは、2グループでのスタートとする。ただし、三種1000mは、オープンとする。
- 8) 走幅跳の試技数は全員3回とする。
- 9) 走高跳(はさみ跳び)は、マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。  
なお、練習は95cmで行い、競技は100cmから始める。バーの上げ方は120cmまで5cmきざみとし、それ以降は3cmきざみとする。
- 10) ジャベリックボール投げの試技は全員3回とし、助走距離は15m以内とする。器具は主催者が用意したものを使用すること。
- 11) ジャベリックボール投げの試技は、競技場に準備してある炭酸マグネシウムをボールの先端に付け、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げる。  
\*羽の部分だけを持って投げることは禁止。

## 5 競技場使用上の注意

- 1) 競技場内を移動する場合は、スパイクを脱いで、スタンド下の移動用通路を通ってください。
- 2) フィールド内へ、持込が出来る飲み物は、水のみです。  
(スポーツドリンクやお茶等は持ち込めません。)
- 3) 指導者、保護者の競技場内での応援、指導はできません。  
緑色のビブスを着ていても競技場内には入れません。
- 4) 一般・観覧者は、西側階段を上がりスタンド中央よりスタンド西側観覧席のみの使用できます。  
\* 声を出さないで応援してください。また、コンコースで待機しないようお願いします。
- 5) 選手がスタンドやコンコースで走りまわったり、大声で騒いだりすると、競技中の選手や周りの人たちの迷惑になるばかりか、大きな怪我につながる恐れがありますので団体の指導者・引率者で責任をもって指導してください。(マスク着用もお願いします。)
- 6) 審判役員・帯同役員は、競技場内での撮影および応援はできません。